

【ミッションステートメント】「いっしょに歩こう！プロジェクト」～日本聖公会東日本大震災被災者支援

- ① わたしたちは、東日本大震災により困難を負って生きる人々に敬意を払っていっしょに歩きます。
- ② わたしたちは、被災地の方々の生活と地域の再創造に向けていっしょに歩きます。
- ③ わたしたちは、主イエス・キリストが、共に歩いてくださることに励まされていっしょに歩きます。

徐々に暑さが増し、どんどん夏らしくなってきました。釜石では、神愛幼児学園の改築に伴う引越しがあったりと、まだまだ多くの働きが続けられています。2回目の夏、仮設住宅でも、様々なプログラムが行われ、支援センターの働きもこれからますます忙しくなってくるでしょう。どうぞ、これからも皆様のお力をお貸しください。よろしく願いいたします。

【飯野司祭と行く釜石ボランティアの旅】

6月13日(水)～19日(火)の日程で、久方ぶりのボランティア・ツアーとして、飯野司祭と行く釜石ボランティアの旅が行われました。飯野司祭と共に聖マーガレット教会の木村登美子さん、川北キヌさんが参加され、仮設のプログラムや、支援センターでの働きなどを行ってきました。

今回は、木村登美子さんに感想をいただいていますので、掲載いたします。

「飯野先生と行く釜石ボランティアの旅」に参加して !!

聖マーガレット教会 木村登美子

6月13日(水)～19日(火)の参加、苫小牧出発に風が強く八戸に着くまでゆれ、センターに着いた一日はゆれているような状態でした。東京聖三一教会より2名の女性参加者がいらしてセンター内でのプログラムをおもにさせていたようです。楽しく2泊一緒に過ごしました。最初の参加(12月)は寒い季節に向かう頃でしたので、足湯がとてもよこばれていました、私はセンター内でのプログラムに参加のため足湯の練習と心得を向井清子さんより学びましたが出来ずに心残りでした。今回の参加で出来たらとイメージしていましたが残念！でも仮設への訪問ができました。着いた日は前回行けずにいた陸前高田、遠野方面を見てきました。途中、がれきの分別がされていること、これからの所もありました。翌日から仮設へ訪問(談話室)では、私の両親と同年齢(少し若いかも)と思われる方々とオハギ作り、昔はよく作って食べたことを懐かしんで、思い出話に思いをよせ作って食べました。また、別の仮設では子供のころ学校で歌った童謡を、参加された方々と一緒に大きな声を出し歌い、学校で習った、習わないなどと会話がはずみお互いに元気になりました。別の日は漁村(漁師さん宅)訪問この日はおじさんで消防団も兼ねている方と会話をしました。救援物資を公平に分けることに気を配ったことをお聞きしました。漁師の仕事はこれからとのことでした。現在岸壁を高くする工事がすすんでいました。仮設の40戸以上のところでは個別訪問、手土産に「北海道のトマジューズとキャラメルです」という言葉が順調に出てきません、飯野先生がお手本を示して下さり、どうにか3～4戸はドアを開け、挨拶し手渡すことが出来ましたが、相手の方から話題をと思っていました。霧囲気を作ることに課題を残しました。釜石被災者センター内に来所される方々は自分でお茶っこしながら会話を楽しんで、センターの存在がとても大切なことを感じました。日曜日は主日礼拝で聖餐にあずかり感謝です。また、臨時東北教区総会では3教会の建て替えが承認された報告を伺い拍手で喜びを共有しました。この訪問で感じたことは報告書などで読んでいる仮設先や漁村の地名の漢字にルビがされていないので読むことと聞くことの違いがありました。たとえば「甲子(かっし)」「唐丹(とうに)」など もっとあると思います。これから「ルビ」よろしく願いいたします。支援センターに八幡(やわた)さん(東京聖三一教会信徒・管区渉外担当)が海老原さんのサポートをされていると伺いよかったです。帰りは一日違いで台風にあわず穏やかなうちに帰札することが出来ました。すべてに感謝。

【内海司祭・釜石派遣】

長らく北海道教区から教役者を釜石へ送ることができませんでしたが、今回7月10日(火)～24日(火)の日程で、平取聖公会の内海司祭が釜石へ行ってくださることになりました。ちょうど、園舎の改築のための引越しなどの日程と重なっており、内海先生の働きが期待されています。みなさんもお祈りのうちに覚えてくださいますと幸いです。

【リベリナ教区訪問団・釜石での活動】

リベリナ教区よりの訪問団が、7月2日(月)～7日(土)の日程で釜石に入り、活動を行います。パウロ熊坂登司祭とスー・チルバス執事が引率で、青年4名が参加いたします。釜石からはそのまま札幌に向かい、8日(日)の主日礼拝に出席後、北海道教区の釜石を経験した青年たちとの交流会を8日(日)の午後に、教区事務所で行います。よい働きができるようお祈りください。

【釜石での働き】

※ 震災支援室ブログ(海老原さん・八幡さん発信)より抜粋

☆ 八幡真也さんは東京教区の方で、長期間、支援センターのボランティアに加わってくださると共に、札幌での長期の用事のあった海老原さんの留守をお預かりくださっています。(ブログは6月18日～28日)

6月11日

本日は上中島仮設の体操プログラムの日です。今日はいつものS先生がお休み。ピンチヒッターで同じお名前の佐々木先生が担ってくださいました。S先生は介護系の体操、佐々木先生はエアロビクスの先生です。釜石では幅広く活躍なさっていた方。大好評でした。困ってきたのは参加者が増えていることです。談話室に入りきれなくなりそうです。上中島仮設は世帯数のわりに談話室が狭いのです。もそっと広くならないでしょうか。体操のアシスタントをしてくださった吉松(英)さん・八幡さん、ご苦労様でした。

6月15日

昭和園では七飯町のレクリエーション協会の方々が高齢者向けのイベントを開いてくださいました。ちんどん屋さんによる声掛けから始まり、柴又からお越しの寅さんが登場したり、フラダンスがあったり、盛りだくさん。効果絶大だったのはちんどん屋です。普段は出てこない人も多数お越しくくださったとのこと。談話室がこんなに人でいっぱいになったのは珍しい、と自治会や連絡員さんも喜んでいました。七飯町レクリエーション協会のみなさま、本当にご苦労さまでした。

午前の大畑ではおはぎを作りました。みんなで食べる分だけ作る予定でしたが、全世帯にお配りすることに。予備のもち米も炊いて40世帯分を作りました。こちらも楽しかったようです。また作りましょうね。準備と指導をくださった札幌マーガレット教会の川北さん・木村さん、八幡さん、ありがとうございました。

午後の松倉も新しいプログラムのスタートです。探していた先生がようやく決まり、音楽プログラムがスタートしました。とても素晴らしい先生に恵まれて、楽しい歌の時間になりました。これからが楽しみです。

さてセンターは名倉さんと本多さん、それに飯野先生がお守りくださいました。今日も人が多かったようです。楽しいお話の輪が今日もできていたそうです。

6月20日

昨日6月19日は私がセンターをお預かりしての初日でした。朝の訪問者の方々の出足が鈍かったので、私に問題があるのかと責任を感じましたが最終的には10名。地域にお住いのボランティアSさんのお手伝いを頂き一日無事終了。Sさんに感謝です。金曜日のパッチワーク教室の打ち合わせのために地元のI先生がセンターに来られて、準備が整ったことに関しては感謝とともに安心しました。

今日は昨晚遅くからテレビで台風4号上陸、東北地方を含んで北上と驚かされました。どうなるかと本当に心配でしたが、結果的には午前中に雨脚が強い時があった以外は天気予報やテレビで流された警報ほどの台風の影響ではありませんでした。

午後早く帯広聖公会の尾関さんがお一人で到着。私が行う初めての釜石ボランティアのオリエンテーションを受けられた尾関さんの気持ちをブログを読む皆様察してあげてください。私本人はベストを尽くしたつもりですが。

6月28日

昨日6月27日午前中李司祭は保育園へ礼拝のために出かけられたので、千葉さんと二人でセンター業務。来訪者が少なく、ゆっくりした時間でした。午後一番で盛岡聖公会信徒小林さんが到着。今日は比較的静かな一日でした。

寝泊まりしている栗林の仮設とセンターの往復のドライブで、全壊した家屋の基礎部分だけが残っている所に所々お花が置かれている光景を目にする。その家屋の持ち主が来て置いておかれたのかなーと思い悲しみでやりきれない事がある。

【いっしょに歩こう！プロジェクト】

「いっしょに歩こう！プロジェクト」の活動の様子は、月一度発行予定の「ニュースレター」や、「いっしょに歩こうプロジェクト！」ホームページ<http://nssk.org/walk>で、ご覧いただけます。

【支援室の活動】

インターネットで支援室ブログが見られます。毎日の釜石ベースの活動もアップされます。<http://nsskhokkaido.blog89.fc2.com> 又は、「日本聖公会北海道教区ホームページ」→「東日本大震災」→「震災支援室ブログ」の手順でご覧下さい。

【震災支援室より】

◎ 支援室ニュースは、各教会において掲示下さると共に、増刷して配布ください。支援室ニュースのバックナンバーは、日本聖公会北海道教区のホームページにでも見る事ができます。

◎ 教会や個人での取り組みについても、お知らせください。他の教会の活動の参考になります。

【連絡・問合せ先】 電話：011-561-0451、ファクス：011-736-8377

Eメールアドレス：saigai@nssk-hokkaido.jp

【釜石ベース】〒026-0031 釜石市鈴子町5-4 「聖公会 釜石被災者支援センター」

☎0193-55-4524、090-6999-7840

Eメールアドレス：nssk311@yahoo.co.jp